

グループホームきくまの家 運営推進会議

令和**6**年度第**4**回

2024年**11**月**30**日

グループホームきくまの家 基本理念

- ①ひとりひとりの生活の【気持ち】と【動き】を専門職として気付き、有する能力を最大限に活かすことができる環境づくりや調整を行い“できること”の継続を実践します。
- ②買い物、お祭り、清掃活動などで【地域とのかかわり】を持ち続け1人の住民として、地元へ貢献していくことを支えます。
- ③入居した後の、家族や友人との関係を続けられるように支援します。

【入居状況】

令和 6年 11月 30日 土曜日

入居者数 1階 (9名) 男性 (3名) 女性 (6名)

2階 (8名) 男性 (2名) 女性 (6名)

要介護1 (2名) 要介護2 (7名) 要介護3 (8名)

介護度 要介護4 (0名) 要介護5 (0名) 要支援2 (0名)

平均介護度 全体 2.4 1階 2.1 2階 2.6

認知症高齢者の I (0名) IV (1名) M (0名)

日常生活自立度 II (0名) IIa (1名) IIb (7名)

III (0名) IIIa (9名) IIIb (0名)

全員 平均 (85.9 歳) 最年少 (75 歳) 最年長 (95 歳)

年齢 女性 平均 (85.3 歳) 最年少 (75 歳) 最年長 (93 歳)

男性 平均 (84.8 歳) 最年少 (79 歳) 最年長 (95 歳)

・ 在籍日数 最長1686日 最短84日 平均884日

・ 現在空室 1名、2名相談対応中です。

R2年4月～R6年11月までの入居者数

・ 自宅から 17名

・ 高齢者施設から 10名 **合計**

・ 医療機関から 2名 **29名**

R2年4月～R6年9月までの退居者数

・ ホームでお看取り 4名

・ 入院先でご逝去 3名 **合計**

・ 高齢者施設へ 3名 **12名**

・ 医療機関へ 2名

【職員状況】

令和 6 年 11 月 30 日 土曜日

- ・ 開設から～R6年11月30日までの
・ 退職 16 名
- ・ R6年4月1日～R6年11月30日までの
・ 退職 2 名
- ・ 現在の職員数 22 名
・ 正看護師 1 名
- ・ 介護福祉士 11 名 実務者研修終了 2 名 初任者研修終了 3 名
- ・ 基礎研修終了 4 名 技能実習生 1 名

【身体拘束廃止について】

- ・ 4点柵、車椅子ベルト、つなぎ服、などの身体拘束は行っておりません。

センサー使用状況

1階：玄関、廊下、102、106、107 5ヶ所使用

2階：廊下、トイレ、206①206②、210、211 6ヶ所使用

【季節行事等】

10/1 ~ 11/30

- ・ 誕生会4名
- ・ 市原天翔太鼓10月12日
- ・ 消防立ち合い防災訓練
- ・ 菊祭り外出

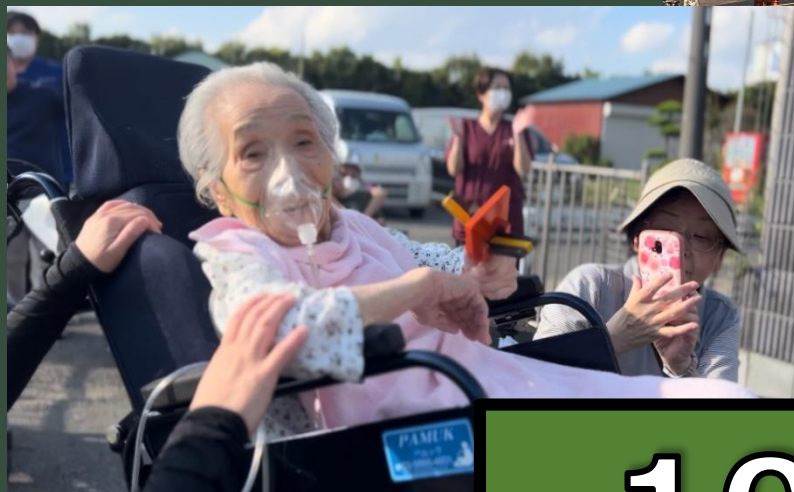


10月12日 市原天翔太鼓

【季節行事等】

10/1 ~ 11/30

- 誕生会4名
- 市原天翔太鼓10月12日
- 消防立ち合い防災訓練
- 菊祭り外出



10月12日 市原天翔太鼓

【季節行事等】

10/1 ~ 11/30

- ・ 誕生会4名
- ・ 市原天翔太鼓10月12日
- ・ 消防立ち合い防災訓練
- ・ 菊祭り外出



11月13日 消防訓練

【季節行事等】

10/1 ~ 11/30

- ・ 誕生会4名
- ・ 市原天翔太鼓10月12日
- ・ 消防立ち合い防災訓練
- ・ 菊祭り外出



11月16日市津菊祭り



1
階



1階





2階





2階



【虐待防止委員会より】

虐待防止委員会（次回の委員会（11月～1月）

【株式会社マウントバード3か月目標】

【メインテーマ】

「入居者様のできることを ひとつでも多く引き出す」

【きくまの家サブテーマ】

● 11月は『衣替え+身だしなみ』

- ・入居者と一緒に衣替えを行いながら、衣類の整理を行い、不要なものと、足りないものを把握する。
- ・シフトを作る段階で衣替えの担当をバランスよく割り振る。
- ・衣替えの進捗状況は随時、日報の入居者欄に入力し周知する。
- ・起きた時に髪をとかしたり、洗顔を行ってもらう。（ホットタオルなども使用）

● 12月以降は、次回の会議までに他の案も集める。

【感染症状況について】

- ・ 職員、入居者共に【インフルエンザ、コロナウィルスなど】10月以降感染者なし
- ・ 入居者様 インフルエンザ予防接種（10/17 16名）
- ・ 入居者様 新型コロナワクチン定期接種（11/21 10名）

【事故報告】

9/1 ~ 10/31

9月	ヒヤリハット	23 件	10月	ヒヤリハット	27 件
	事故報告	3 件		事故報告	0 件

事故発生直前の様子

センサーで訪室。A2トイレに到着後にズボンを脱ぎ始め、職員はシルバーカーの向きを変えていた。

発生時状況、事故内容の詳細

その直後に右側に大きくフラツキ職員が抱きかかえ、支えに入るが1歩間に合わず、床にお尻がついてしまった。

発生時の対応

職員が支えながら立ち上がり、トイレに座った。

事故発生後の本人の状況

お尻から上は職員が支えぶつけた可能性は無く、外傷、痛みの訴えも無かった為、クリニックへの連絡は見送った。

内容

事故の原因分析（本人要因・職員要因・環境要因の分析）

- ①便座に座るまで付き添わなかった。
- ②シルバーカーを、居室に向け方向転換後に、トイレ内中央付近に配置してしまった為、障害になり支えるまでの時間が遅れてしまった。

対策

具体的な再発防止策

- ①便座に座るまで側で付き添い、見守る。
- ②シルバーカーは便座に座った後にトイレ入り口に、出口を進行方向にして置く。
- ③手洗いを済ませた後の方向転換も転倒のリスクが高いため、すぐに支えられる位置で付き添う。

事故後の振り返り



シルバーカーなどの移動を補助するための福祉用具を

A : どの位置に置くか？

B : どのタイミングで移動するか？

C : その後職員はどのように支えるか？

使用するかたの動きを見続けて、動きを予測することを行い続けることが必要。

また、福祉用具を使用していなかった場合に

A : 使うように勧めるか？

B : 使用しなくても安全に移動できるように、支えるか？

の判断を都度行う。

事故発生直前の様子

- ・夕食の盛り付けを行い、盛り付け終わった物を、職員が移動した後。
- ・隣のテーブルで他者が花を愛でていたのを振り向いて見ていた。

発生時状況、事故内容の詳細

- ・盛り付けが終わり、隣のテーブルの花を見ようと立ち上がった際、方向転換で足がもつれ、ゆっくりと尻餅をついたと思われる。

内容**発生時の対応**

- ・痛みの確認し一度座ってもらい、落ち着いてからバイタル測定。
144/68 P 58腰の痛み以外訴えなし。

事故発生後の本人の状況

- ・右臀部を右手でさすりながら、「他には痛い所はない」と話され介助で立ち上がり木椅子に座る。
トイレで右腰確認するが痛みや赤みなし。その日の夜に左右の肩に痛みがあったが、翌日以降は痛みが無かった。

事故の原因分析（本人要因・職員要因・環境要因の分析）

- ①隣のテーブルに花があり、他者が盛り上がったことが気になったかもしれない。
- ②職員1人はキッチンの中におり、1人は背を向けた状態だったので気付くのがおそくなってしまった。
- ③前日にテーブルの向きを変えていたため、方向転換（振り返る）動作をしやすくなっていた。

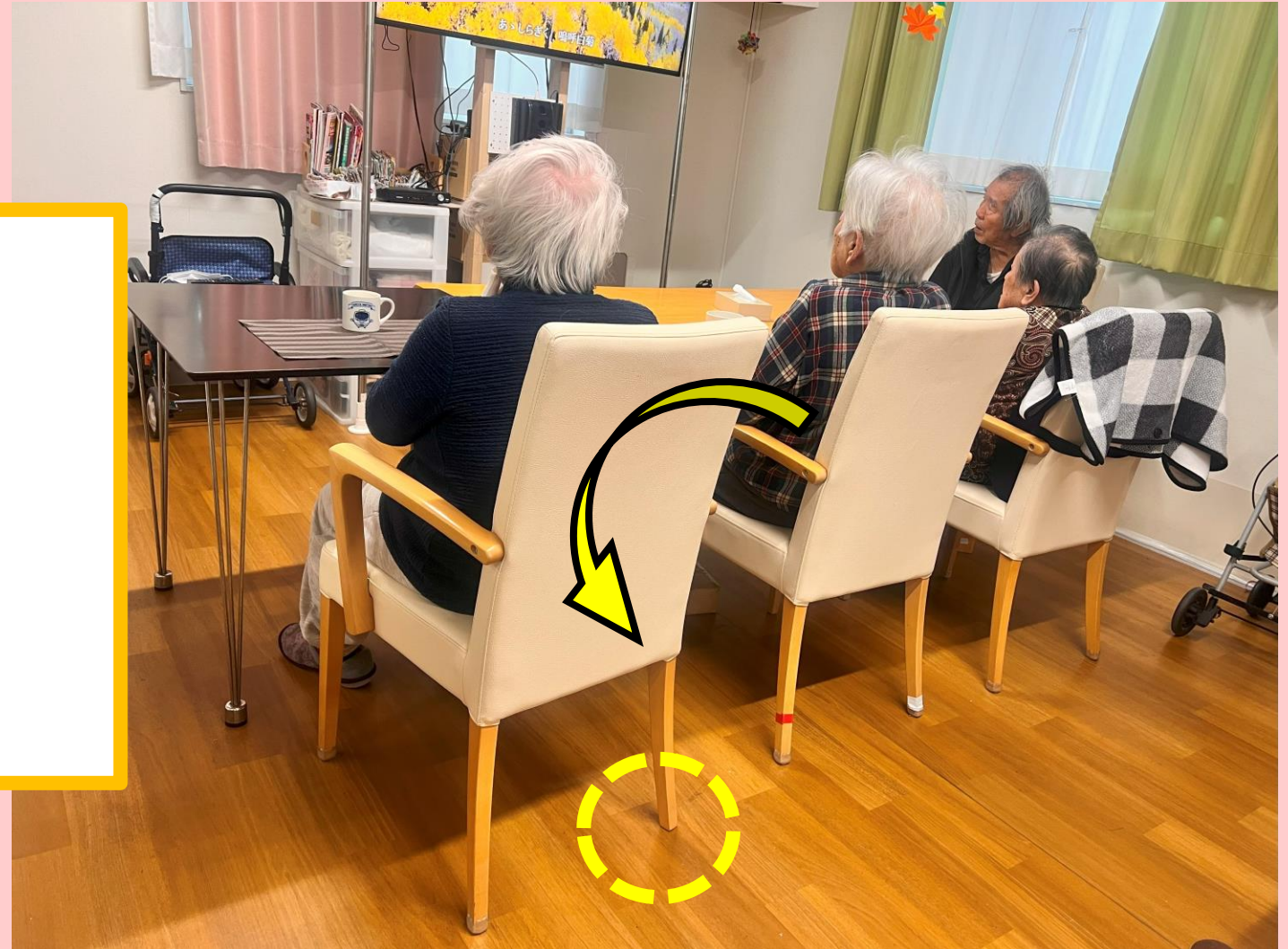
対策**具体的な再発防止策**

- ①職員1名が入居者に背を向ける事が必要な際、最低でも1名の職員は入居者側が視界に入るようにする
- ②テーブル配置をもとに戻し、席変更をする場合には、入居者の動線に配慮。

事故後の振り返り

- A : 振り返った際のリスク
- B : 周囲との関係性を保
- C : 後方の音や雰囲気の影響
- D : ここは自分の席という気持ち

を考えて共用部の席配置を考える。



【現在の業務の取り組みなど】

- 1月27日 外部評価
- 次回の運営推進会議は2月1日の予定
- 12月身体拘束適正化委員会
- 1月虐待防止委員会
- 2月災害対策委員会
- 年末行事に向けて準備中
- 12月1日技能実習生 日本語能力試験 N3



今後も理念に基づいた運営を行います